

特別支援学級生活単元学習指導案

日 時 平成 28 年 9 月 26 日 (月)

児 童 すまいる学年

1 組 1 年男 1 名女 2 名 2 年男 1 名 3 年男 1 名

2 組 1 年男 3 名 2 年男 1 名 3 年男 1 名 4 年男 1 名

3 組 4 年男 1 名 5 年男 1 名

(知的障がい 4 名 自閉症・情緒障がい 9 名) 計 13 名

指導者 細川光子 木藤知子 菊池幹子

支援員 スクールアシスタント

1 単元名 収穫祭をしよう

2 単元の目標

- (1) 収穫の喜びをみんなで分かち合おうとする。
- (2) 収穫した野菜をおいしく食べる工夫をしようとする。
- (3) 協力して作業・活動に取り組むことができる。

3 単元について

(1) 題材について

生活単元学習は、将来の自立を目指し、児童の実態に合った様々な活動を体験させることをねらいとしている。本校では、計画・実施・振り返り等の活動に主体的に取り組むことができるように、以下の 3 点を大事にし、国語や算数の教科等と関連をもたせながら展開している。

- ・意欲に基づく学習の積み重ねによって、日常生活に生きて働く知識や技能を習得したり、望ましい生活習慣形成のきっかけ作りをしたりすること。
- ・それぞれの願いに向かい他者と協力・協働していく中で、社会性を習得していくこと。
- ・多様な体験活動を通し、満足感・成就感に裏付けされた自己実現の喜びを蓄積していくこと。

本単元は、「野菜を育てよう」(種まき・世話)に続く学習であり、収穫・お楽しみ会の内容を時期に合わせながら設定している。これらの活動を通して、達成感や満足感を十分味わわせることができると考える。

(2) 児童について

13 名中、半数が 1 年生である。6 名の 1 年生のうち、3 名は言葉の発達が不十分で、言葉での応答や指示理解がうまくできない。その他、周りの刺激に反応して興奮し、感情のコントロールが効かない児童が多く、音声言語のない児童もいる。

本校では、国語・算数の教科は、各学級に分かれて学習しているが、1 校時を日常生活の時間、4 校時を生活単元学習の時間に位置づけて合同で活動している。

合同学習においては、学年、障害の程度や生活経験の違い等から難しさがあって配慮が必要であるが、集団行動のきまりを身につけたり、教え合ったり助け合ったりしようとする気持ちを育てていくためにも、より大きい集団での活動が有効であると考えて取り組んできた。これまでに、生活経験の少ない 1 年生と上学年がペアになって取り組む活動を多く取り入れてきた。初めのこ

ろは、1年生に関心がなかったり、世話の仕方が分からなかったりした上学年の児童も、進んで世話をしようとしたり、相手の良さを見つけて褒めようとしたりする姿が見られるようになってきている。1年生においても、少しずつではあるが、順番を守って並ぶ、静かに待つ等の集団行動のきまりが身につけてきているところである。

(3) 指導にあたって

1学期には、生活単元学習「七夕会をしよう」において、交流学級の友達や先生方を七夕会に招待し、それぞれができる仕事や活動を分担、協力して準備に取り組んでもてなし、みんなに喜んでもらったことで大きな満足感を味わうことができた。本単元でも、力を合わせて一緒に活動することの楽しさやよさを感じながら、自らの力で活動し、生活を楽しむ経験を増やしていきたい。本単元でも、これまでと同様に、ペアでの活動を取り入れていく。また、各教科とも関連をもたせながら取り組んでいきたい。

本単元では、第3時と第6・7時で、算数科と関連をもたせている。生活単元学習で行う算数科に関連した活動では、算数科の学習で身につけた知識・理解・技能を活用する場、生活に生かして広げる場ととらえる。経験や概念形成が未熟な児童にとっては、上学年や教師の支援を受けながら未習の内容に触れる場、概念の基となる経験をする場ととらえる。本時は、じゃがいもの数を数えたり、重さを量ったりする活動をしていくが、個々の実態に即してできる活動を工夫したり、重さを体感する場を設定したりしたい。数値化したり、五感で体感したりして、たくさん収穫できた喜びにつなげていきたい。また、単元計画表に評価欄を設けて、毎時間、全体で振り返りをしていきたい。

4 単元活動計画 13時間

時	小単元	学習活動
1	計画を立てよう	・収穫祭の計画を示し、見通しをもつ。
2	じゃがいもを収穫しよう	・じゃがいもを収穫する。
3	じゃがいもの育ち方をまとめよう	・写真や観察カードを使いながら、成長の様子をまとめる。
4	どれくらいとれたか調べよう	・収穫したじゃがいもの数を数えたり重さを量ったりする。
5 6	何を作るか決めよう	・調理法を調べる。 ・何を作るか決める。
7 8	買い物をしよう	・買い物の分担と買い物の仕方を知る。 ・スーパーへ行って買い物をする。
9 ～ 12	収穫祭をしよう	・調理して食べる。
13	ふりかえりをしよう	・思い出を絵や作文にかく。

5 本時の目標と展開

(1) 全体の目標

- じゃがいもの数を数えたり、重さを量ったりすることができる。
- 協力して活動に取り組むことができる。

(2) 個人の目標

児童	個人の目標	個に応じた支援
A (1年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいじゃがいもの数を、マスの中に一つずつ入れさせながらペアの児童や教師と一緒に数えさせる。
B (1年生) C (1年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいじゃがいもの数を、数唱と指さしを一致させることに気をつけさせながらペアの児童や教師と一緒に指さしながら数えさせる。
D (1年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなの前に出てスムーズに活動ができるように、教師が声掛けをしながら促す。ペアの児童や教師と一緒に指さしながら数えさせる。
E (4年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・20までの数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大きいじゃがいも全部の数を、1から数字を書きながら数えさせて答えを書かせる。活動の指示が伝わらない場合は、教師がやって見せながら一緒に活動させる。
F (1年生) G (1年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・10までの数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中くらいのじゃがいもの数を数えて10のまとまりを作らせる。ペアの児童に正しく数えられているか確認してもらうようにする。
H (2年生) I (2年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・10以上の数を数えることができる。 ・重さを感じ取ることができる。 ・ペアの児童や教師の支援を受けながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中くらいのじゃがいもの数を10のまとまりごとに「10, 20, 30…」と数えさせ、それにばらの数を合わせて答えを求めさせる。
J (3年生) K (3年生)	<ul style="list-style-type: none"> ・大・中・小のじゃがいもの総数を、筆算で求めることができる。 ・重さの単位(キログラム)を知る。 ・ペアの1年生の世話をしながら協力して活動することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3つの数の計算の仕方を想起させてから筆算をさせる。

L (4年生)	・大・中・小のじゃがいもの総数を、筆算で求めることができる。	・3つの数の計算の仕方を想起させてから筆算をさせる。
M (5年生)	・台ばかりでじゃがいものだいたいの重さを量ることができる。 ・ペアの1年生の世話をしながら協力して活動することができる	・1kg未満の目盛りについては細かくは触れない。

(3) 本時の展開

	学 習 活 動	・指導上の留意点 ○個に応じた支援
導 入 5 分	1 あいさつ 2 前時までの学習の振り返り 3 本時の学習のめあての確認 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px auto;"> じゃがいもが、どれくらいとれたかしらべよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・まっすぐ立ち、大きな声で返事をし、ゆっくりお辞儀をするように声を掛ける。 ・収穫の際のビデオや、収穫した実物のじゃがいもを見せて、前時までの様子を想起させる。 ○D児には教師が側に付き、声を掛けて落ち着かせる。 ・単元の計画表を提示し、本時の学習のめあてを確かめさせる。 ・昨年の収穫量（175個、3kg）を記録した物を提示し、本時の意欲付けをする。 ・数と重さを調べることを確認する。
展 開	4 じゃがいもの数を数える。 (1) 大きさ別に3つに分ける。 ・主に1年生は、上学年のアドバイスも受けながら大きい物を見つける。 ・主に2年生以上は、話し合いをしながら、中くらいの物や小さい物の選別をする。 (2) 大きさごとに数える。(㊦㊧) ・A～E児は㊦の数を数える。 ・F～I児は㊧の数を数える。 ・J～M児は㊨の数を数える。	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の児童の実態に応じて、できる活動に取り組みさせる。 ・児童が互いの活動を見合う場面も設け、がんばっているところを見つけさせたい。 ○A, D, E児には教師が活動の声掛けをしたり、手を取ってじゃがいもを持たせたりする。 ○I児には活動を始める声掛けをする。 ○A児には、1つのマスに1個ずつじゃがいもを入れさせる。 ○B, C, D児には、教師やペアの児童と一緒に指さししながら数えさせる。 ○E児には、マスの下に1から順に数字を書かせる。 ・㊦㊧の数は、同時進行で数えさせる。

35分	<p>(3) ㊦㊧㊨の数を合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J～M 児は、全体の数を筆算で求める。 <p>5 ジャがいもの重さを量る。</p> <p>(1) 秤で量る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・L, M児は、台秤で全部の重さを量る。 <p>(2) 持ってみる。</p>	<p>○F, G 児には、教師やペアの児童と一緒に指さしながら数えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10のまとまりを作らせ、「10がいくつとばらがいくつで…」と、数を確認する。 ・「あわせて何個」から、たし算を適用することを確かめて立式させ、筆算で答えを出させる。 <p>○3つの数の計算の仕方を想起させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年より多いか少ないか比べさせる。 ・重さを調べる道具として秤を知らせ、提示する。 ・秤の目盛で、昨年の重さ(3kg)のところにあらかじめ印をつけておく。 ・針が印を越えると、昨年より重いことを確認する。 ・ジャがいものを秤にのせ、昨年の重さと比べる。 ・1kg未満の目盛については細かくは触れない。 <p>○L, M 児には「だいたい○kg」「○kgより重い(軽い)」などと表現させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袋に入れたジャがいものを1人ずつ持たせ、重さを体感させる。 ・「重いね。」「軽いかな。」などと言葉掛けをしながら持たせる。 <p>○D 児には教師が付き、順番が待てるように声掛けする。</p>
まとめ 5分	<p>6 学習のまとめと振り返り</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>かずは○こ。 おもさはだいたい△kg。 たくさんとれた!</p> </div> <p>7 あいさつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・数がしっかり数えられて重さも分かったので、たくさん収穫できたことを確認し、喜びを味わわせる。 ・互いの児童のがんばりを見つけさせる。 ・みんなで力を合わせて学習できたことに気づかせ、単元計画表の評価欄に記入し、成就感をもたせる。 ・ジャがいものをどうやって食べたいかに触れ、収穫祭への期待感をもたせたい。 ・立ち方、お辞儀の仕方、返事のし方に注意させる。

(4) 本時の評価

- ジャがいもの数を数えたり、重さを量ったりすることができたか。
- 協力して活動に取り組むことができたか。

